

夢TRY科を取り組んで

テキストにあるイラストやマンガには、さまざまな話題が描かれています。身近な生活の中で起こることを題材にして、世の中の出来事と自分とをつなげながら学びます。



ステージC「情報の扱い方」

情報を扱うときに気をつけるについて考えます。



ステージA「防災意識で乗りこえる」
突然起ることもある自然現象に対して、どのような危険があるのかを考えます。



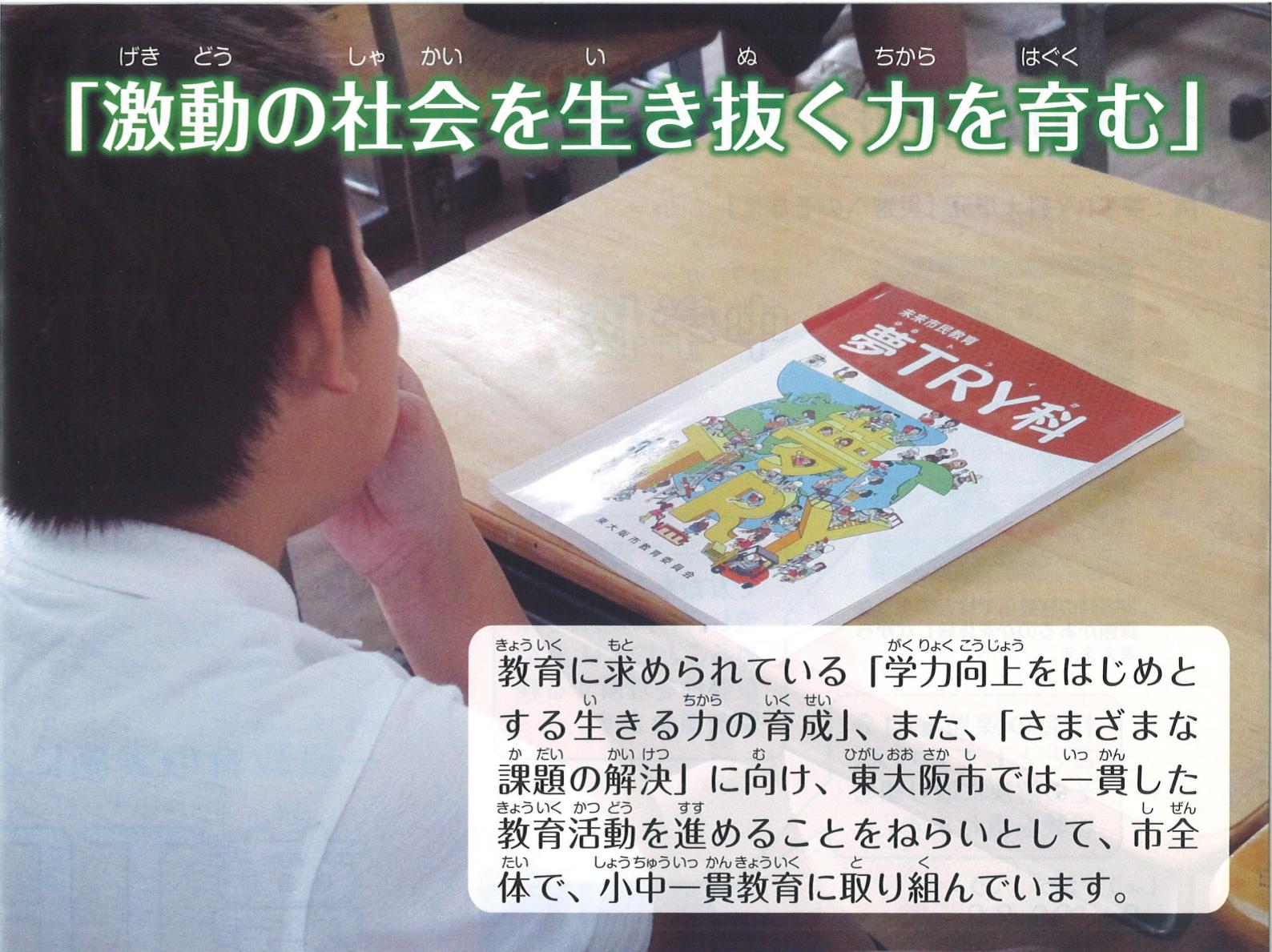
ステージB「ルールが変わる理由」
なぜ、ルールは新しくつくられたり、変わったりするのかを考えます。

子どもの感想

- ・算数や国語とちがって自分の身近なことを考えるので、発表しやすい。
- ・答えが一つでないことをみんなで話し合えるから楽しい。
- ・将来、役に立ちそうなことを学習するので、次の授業でもがんばりたい。
- ・今まで気にもとめなかつたことを考えたり、友だちの考えを聞いて、自分の考えが広がったりすることが楽しい。

夢TRY科の授業では、すべての子どもたちが積極的に参加し、先生も一緒に学んでいる姿が見られます。今後、授業が積み重ねられ、中学校区の特色をさらに生かした学習になることを期待しています。

「激動の社会を生き抜く力を育む」



教育に求められている「学力向上をはじめとする生きる力の育成」、また、「さまざまな課題の解決」に向け、東大阪市では一貫した教育活動を進めることをねらいとして、市全体で、小中一貫教育に取り組んでいます。

保護者の皆さまへ

学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながることが大切です。

その「生きる力」を育むためには、小中一貫教育が効果的だと考えており、その取組みの一つである夢TRY科には、これから社会がどんなに変化しても、子どもたちに生き抜いてほしいという思いを込めています。この夢TRY科を始めとする小中一貫教育に関わる様々な取組みにおいて、学校を中心として、家庭・地域が一体感を持ち、子どもたちがそれぞれに思い描く夢を実現する支えとなることを願っています。

東大阪小中一貫教育

HIGASHIOSAKA SHOUCHUKU KAN

夢TRY科

ひがしおおさかし どくじ がくしゅう
東大阪市独自の学習として、一つのテキストで、つながりのある学習を行います。

一部教科担任制

ひと がくしゅう たんげん
一つの学習ごとの単元期間に、一部の教科で担任外の教員による授業を受けます。

定期テスト

ひと がくしゅう たんげん
一つの学習ごとの単元期間を振り返る定期テストを受けます。

中学校登校

ちゅうがく とうご
中学校区の計画に基づき、学習やクラブなど中学校での生活を体験します。

さまざま かだい じぶん
様々な課題を自分ごととして解決することが、社会で求められる力の育成につながります。
(小・中学校)

たんにん かだい きょういん
担任以外の教員とかかわる機会が増え、そのことが子どもたちの安心感につながります。
(小学校)

がくしゅう み
学習のつまずきを見つけるなど定着度を確認することで、学力向上につながります。
(小学校)

たん いた
すべての子どもが抱く、先輩後輩の関係など中学校進学時の不安の解消につながります。
(小・中学校)

など様々な取組みを実施

も がくしゅう じつ げん つながりを持たせた学習の実現

例：夢TRY科大単元「災害へのそなえ」



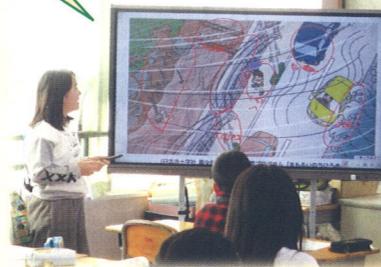
ちゅう がつ こう 中学校

災害時の避難所ではどのような課題があるのかを体験しながら考えます。

グループ活動などで友だちと考え方を交流し、自分の考えを深めることにより、その重要性を理解する経験を重ねます。

しょう がつ こう 小学校

しゅう がく まえ 就学前



台風時にどのような危険が予想されるか電子黒板を使って発表・交流することで解決につなげます。

子どもたちは、
どのような学習をしていくのだろう。

い ちから はぐく 「生きる力」を育む

おも えが それぞれに思い描く 幸せの実現

こ ひとり なが せいちょう み とお
子ども一人ひとりの長い成長を見通し
た指導となる一貫教育により、将来、
社会で求められる力を育む。

いつ かん きょう いく じつ し
一貫教育の実施にともなう教科として

ゆめ と ら い か 夢TRY科

い ちから はぐく こう か てき きょう いく
「生きる力」を育む効果的な教育



しゃ かい たい おう ちから いく せい 社会に対応できる力の育成

まな じん せい
学んだことを人生
や社会に生かそう
とする力が求めら
れる



み ち じょう きょう
未知の状況にも
対応できる力が
求められる

じつ さい しゃ かい せい かつ
実際の社会や生活
で生きて働く力が
求められる



えーあい し しん か しょ う し こ う れい か
AIの進化、少子高齢化、
自然災害の増加・・・
これからの中でも、社会で生きて
いくために、子どもたち
にはどんな力が必要なの
だろう。

おとな ひとり こ はる おも えが さき きょう いく じつ げん
すべての大人が一人ひとりの子どもの15の春を思い描き その先につながる教育を実現